

## 体育研究所設立 40 周年記念事業 第 40 回日本オリンピック・アカデミー セッションの共催について

A project commemorating the 40<sup>th</sup> anniversary of the founding of  
the Institute of Physical Education Jointly hosting the 40<sup>th</sup> session of  
the Japan Olympic Academy

田 原 淳 子

Junko TAHARA

国士舘大学体育学部附属体育研究所では、設立 40 周年記念事業の一環として、NPO 法人日本オリンピック・アカデミー (JOA) 主催の第 40 回日本オリンピック・アカデミーセッションを共催した。偶然にも両者の歩みの年月を示す「40」年が一致し、初めての共同事業であった。

### 開催の経緯と準備

国士舘大学は、平成 26 年 6 月 23 日に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との大学連携協定を締結した。平成 28 年度には、全学的にオリンピック・パラリンピック教育 (オリ・パラ教育) を推進していくために、オリンピック・パラリンピック教育検討委員会が発足し、全学的なオリ・パラ教育のあり方について検討がなされた。また、本学創設 100 周年記念事業においては、平成 29 年 11 月 3 日にスポーツ庁長官鈴木大地氏や世田谷区長保坂展人氏らを招いて、国士舘創立 100 周年記念シンポジウム「オリンピック・パラリンピックを支える」が開催された。こうした流れを受けて、本研究所においても、学内外に開かれたオリ・パラ教育に資する事業を実施

することにした。

セッションの準備は、JOA のセッション委員会 (嵯峨寿委員長) と緊密な連携をとりながら進められた。会場は、本学 100 周年記念事業の一環で平成 28 年に多摩キャンパスに新設されたメープルセンチュリーセンター多摩 (MCCT) の 301 教室で行った。広く明るい開放的な雰囲気、最新設備が整った会場は参加者に好評であった。また、本研究所からは、会場提供の他に、ポスター、チラシ、看板の制作を供与し、本学関係者の協力を得て、東京都、多摩市、川崎市の教育関係者にも幅広く広報活動を行った。



会場風景 (角田所長挨拶)

## 当日の様子と成果

セッション当日は、全国から100名を超える参加者が集まった。本学からは体育学部教員10名、スポーツ・システム研究科の大学院生11名、研究科助手3名が参加し、他学部からの学生や本学大学院修了生の姿も見られた。開会式では、共催者を代表して角田直也副学長・体育研究所長が挨拶を行った。プログラムの概要は、別紙(p.136)を参照されたい。

今回のセッションのテーマは、「オリンピック・ムーブメントにおける文化的活動の意義と展開」であった。参加した大学院生からは、次のような感想が述べられた<sup>注)</sup>。

「これまでオリンピックは4年に一度の大会だということしか知らなかった。多くの人々がオリンピックに関わり、大会だけではなく様々なところで動いていることを知った。中でも、将来のオリンピック、ユース世代の大会など若い世代、学生に対する支援を多く行っていることを知った」

「今までオリンピックを何回も見してきたが、芸術や文化と結びついているとは考えたことがなく驚いた。(略) オリンピックの裏側では様々なイベントや取り組みがあり、クーベルタンの意思を受け継いでいかなければならないと感じた」

「クーベルタンが考えていた『スポーツ+芸術』という思想は本来のスポーツのあるべき姿なのだと感じました。(略) 芸術を通してスポーツの美しさ、すばらしさ、過酷さ、楽しさを伝えることでオリンピックへの見方が変わると思います」

「車いすの女性が海の中を潜っている話を聞いたときは感動した。(略) 限界を決めずにチャレンジし続ける人を見ると、こんなにも人の心を動かすことができるのだと感じた」

「オリンピックにおける競技以外の部分でどのような文化的な発信が行われていたのかを詳しく知り、オリンピックに対する価値観が変わった」

「文武両道を実現したかったクーベルタンが今

のオリンピックを見たらどのような反応をするのだろうと思い、世界各国との交流をさらに行っていくべきだと思った」

「今後さらに競技力向上や世界平和を実現するためには交流を深めていく必要があると思った」

「競技内容や結果だけではなく、他国の選手との交流などにも注目してオリンピックが見られれば、今までよりも違う目でオリンピックを見て楽しめると思いました」

「本来、誇りがあれば他者にも寛容になれるはずなのに、(略) 過剰な誇りが排除につながるならば、今の日本の情勢も2020に向けた機運のありようも楽観できないように思えてなりません」

「昔の選手村では、各国の選手が交流を深めていたことに驚いた。2020年東京オリンピックでは施設はもちろんだが、交流の場についても意識して開催できればすごくいいオリンピックになるのではないと思う」

「JOCではオリンピック教室や研修会など色々な観点からオリンピック・ムーブメントを推進していると思いました。2020年に向けてこうしたムーブメントが東京オリンピックの成功につながると強く思いました」

「教育に携わる立場を志す者として知っておかなければならない大切なことを学ぶ良い機会となった」

大学院生は、会場の設営と片付け、最寄り駅での案内などにも労を惜しまず、セッションのスムーズな運営に協力した。

また、体育学部教員の関根委員からは、オリンピックが全人教育を意図していることから、学校の道德教育におけるオリンピックの積極的活用について助言がなされた。

懇親会は、MCCT2階の食堂において食堂スタッフの手厚いサービスのもとに行われた。オリンピック・ムーブメントの輪が広がり、時間の経つのも忘れて交流が和やかに繰り広げられた。

#### おわりに

本学は歴史と伝統のある体育系大学の一つであり、オリンピックの選手やコーチなども多数排出してきた。今回、体育研究所40周年という節目の年に、体育学部及び体育研究所の理解と協力を得て、本学多摩キャンパスにおいて第40回JOAセッションを共催することができたことは、大きな意味があったと思われる。こうしたオリ・パラ教育につながる活動を今後も定期的に継続して実施することができれば、本学がスポーツ文化の有数の発信拠点として位置づいていくであろう。

最後になりましたが、今回のJOAセッションの共催にあたり、JOA笠原一也会長、同荒井啓子専務理事、JOAセッション委員会嵯峨寿委員長、また学内において強力な支援をくださった角田直也副学長・体育研究所長を初め、秋葉茂季研究科助手、修士課程2年生でJOA会員でもある青柳秀幸院生ほか、関係者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

注) 文意を損ねない範囲で自然な表現に変更した箇所があります。



特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー主催  
 国士館大学創立100周年  
 国士館大学体育学部附属体育研究所設立40周年記念  
**第40回JOAセッション**



**オリンピック・ムーブメントにおける文化的活動の意義と展開**

オリンピックが「文化」を重視する理念について理解を深めると共に、オリンピック・ムーブメントにおける文化的活動の実態と課題を把握し、オリンピズムの普及・浸透に寄与するオリンピック・ムーブメントとしての文化的活動ならびに東京2020文化プログラムのあり方を展望する。

- 日 時** : 2017年12月16日(土) 13:00~16:40
- 会 場** : 国士館大学多摩キャンパス メープルセンチュリーセンター多摩 (MCCT) 301
- 共 催** : 国士館大学体育学部附属体育研究所
- 後 援** : 国際オリンピック委員会、国際オリンピック・アカデミー、国際ピエール・ド・クーベルタン委員会、外務省、スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団、一般財団法人嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センター、一般財団法人日本パラリンピアンズ協会、特定非営利活動法人日本オリンピアンズ協会
- 協 力** : 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム

*Program*  
プログラム

<p>12:15 … 受付 / 13:00 … 開会</p> <p>13:20~14:00 … 基調講演  <b>和田 浩一</b> / フェリス女学院大学教授        「オリンピズムにおける文化・芸術 クーベルタンの理想」</p> <p>14:15~15:45 … パネル・ディスカッション        「オリンピック・ムーブメントの文化的活動例に学ぶ」</p> <p>16:00~16:30 … 総括講演  <b>舩本 直文</b> / 首都大学東京特任教授</p> <p>16:40 … 閉会</p> <p>16:45~18:15 … 懇親会</p>	<p>パネリスト</p> <p><b>藤原 庸介</b>        日本オリンピック委員会理事</p> <p><b>吉本 光宏</b>        ニッセイ基礎研究所社会研究部研究理事</p> <p><b>柳谷 直哉</b>        日本オリンピック委員会        オリンピック・ムーブメント推進部部长</p> <p>コーディネーター</p> <p><b>新名 佐知子</b>        秩父宮記念スポーツ博物館学芸員</p>
--	--



- 申し込みについて**  
 専用フォームにて12月6日(水)までお願いします。  
[olympic-academy.jp](http://olympic-academy.jp)
- 参加費**  
 会員 1,000円、非会員 3,000円、学生無料
- 懇親会**  
 5,000円、学生 2,000円
- お問い合わせ**  
 JOAセッション2017実行委員会事務局 後藤光将  
[gotms@meiji.ac.jp](mailto:gotms@meiji.ac.jp)